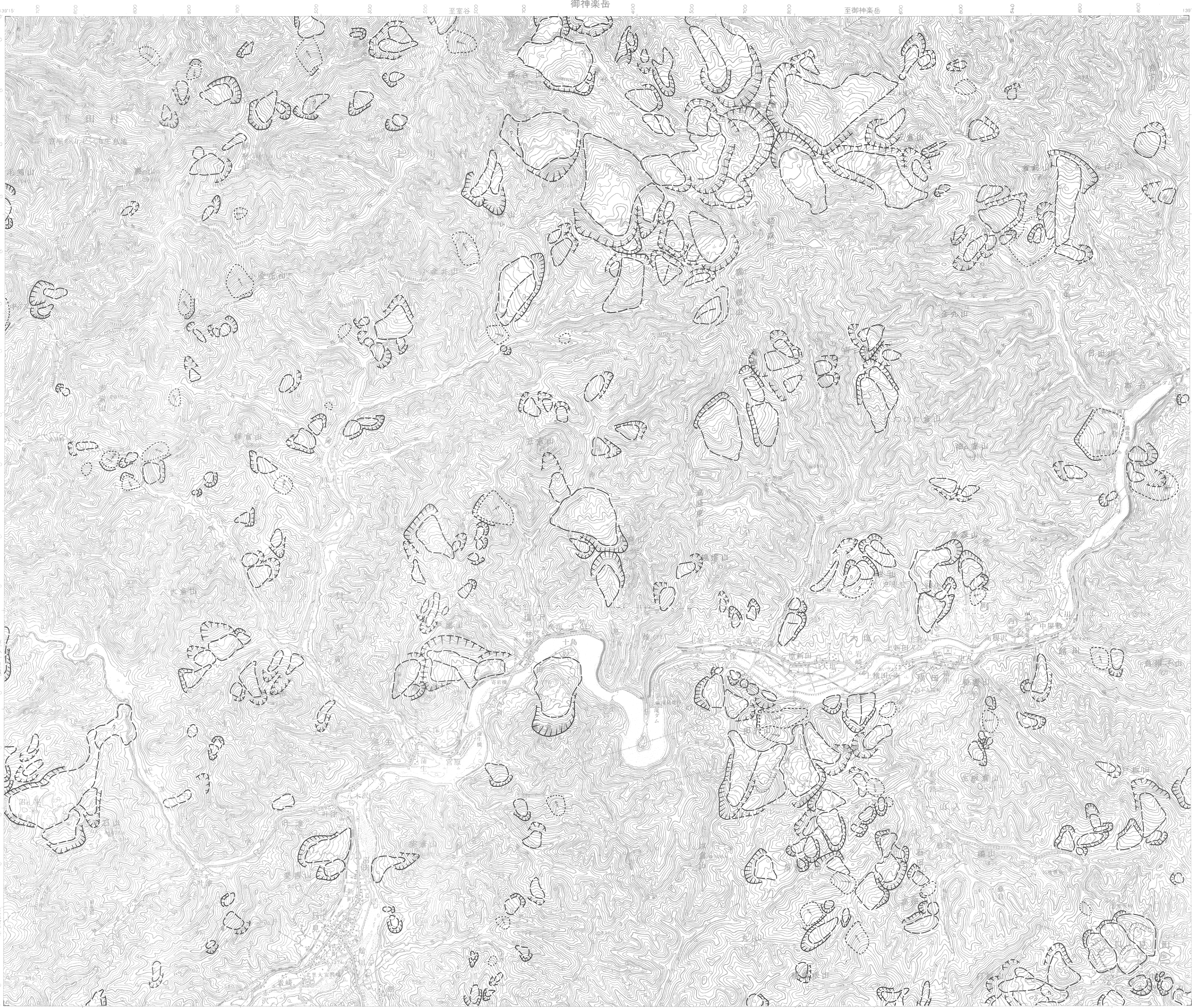




凡 例

輪郭構造
滑落崖と側方崖

新鮮なまたは開析されていない冠頂をもつ滑落崖

部分的に開析されている冠頂をもつ滑落崖

冠頂が著しく開析された滑落崖

冠頂が丸味をおびて不明瞭になった滑落崖

開析されて無くなってしまった冠頂・滑落崖の推定復元位置

共通の冠頂をもち、互いに反対方向を向く滑落崖

中・緩斜の流れ落ちすべり面が地表に露出し、滑落崖にあたる急崖をまじない斜面。冠頂は電柱の反対側斜面とすべり面との交線である。

後方崖、多重後縁等

移動体の輪郭・境界

後方に滑落崖があり、移動体の輪郭が明瞭ないし判定可能

後方の滑落崖は明瞭であるが、移動体の輪郭の判定が困難

滑落崖はほとんど開析されてしまったが過去の移動体の一部（不安定土境）が残存している

ほかの移動体や堆積物におおわれた部分

斜面体の移動の初期状態、基岩から分離していないとしても不安定域・移動域と推定される範囲

斜面移動体かどうか判定できない山体・小丘

脚部線・削制域下限

内部構造

二次・小滑落崖、道縁の開析程度に応じて輪郭構造の場合と同様に表わす

崖行電裂

線状窪地・小谷底線、は谷の出口または谷底の傾斜方向

サブユニットの境界、内部(二次)移動体輪郭

移動体内の小尾根

池

幅の広い溝状凹地、亀裂

水のない窪地

幅の狭い溝状凹地、亀裂

膨陸地の前線

移動方向等

移動体の主移動方向。

すべり

クリープ（匍行）

流れ・押出し

落石など

前方への傾動または傾動を伴う移動とその方向

元の斜面傾斜と逆方向へ傾動した斜面の傾斜方向

その他

遷急線

活断層（地すべりを変位させている顕著な断層）

地層面等および節理・断裂の走向・傾斜

行政区画

索引図

加茂 御神楽岳 野沢

守門岳 (新潟) 宮下

須原 小林 針生

()内は所属20万分1図の図名

新潟県
1. 南蒲原郡 2. 東蒲原郡
福島県
3. 南会津郡 4. 大沼郡

1:50,000 只見

1000 m 0 1000 2000 3000